

・原田脩記念・

ギョリ・稲童

原田脩

平成5年 京都にて

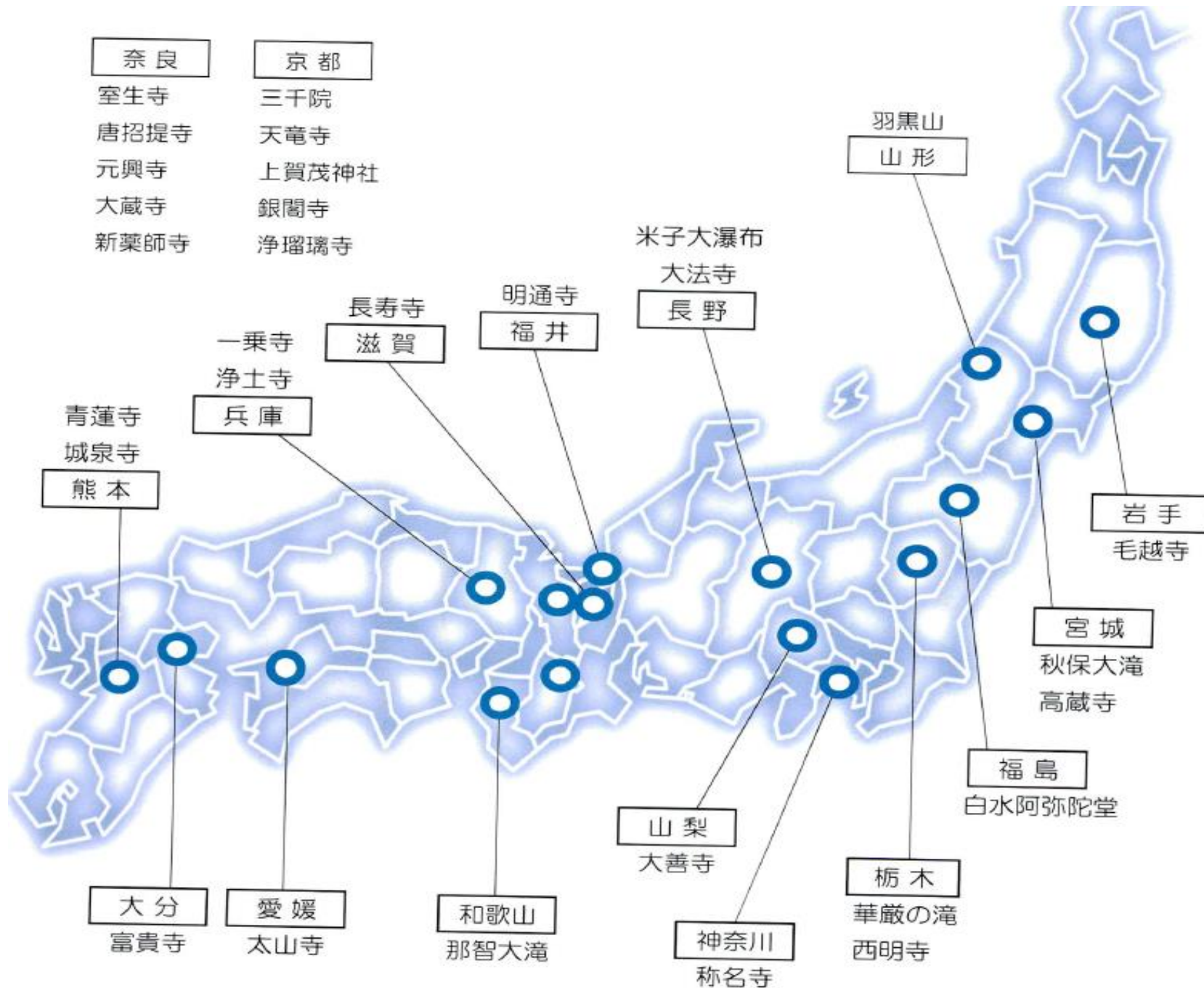




当麻寺にて
1991年



旅の足跡





上賀茂神社 1976年



浄土寺 1998年⁶



羽黒山五重塔

1997年



那智大滝

1992年





原田脩記念

ギョリ・稲童







日本庭園





「青いバケツの会」 展覧会

小倉高校美術部 OB と
原田脩ゆかりの作家たち



2
0
1
1
年
1
1
月

大井屋主

原田脩 常設展

第三期開催中

原田脩記念 ギャラリー稲童
平成23年4月16日～

わたしは
ゆっくりと
感動の
おさえを
気にしながら
石段を
降りていった
杉の木立が
覆い被さって
何百年来の
杉だろう
その・杉・を
霧が
やさしく
包んで

瀧の流れを
見上げると
ただ
何も言えない
それだけで
瀧を
見た甲斐が
ありました
瀧を
描く
くるしみ
と



里帰り展

常設第八期

2014・10・18(土)～2015・3月(予定)



新たに、当館所蔵となった、六点的寄附作品（都賀大進・大曾寺等）と、個人所有のギャラリーには初見参の作品、大蔵寺・元興寺他七点を展示します。
東日本震災の折に東日本の作品を展示しましたので、今回は、西日本の作品を選びました。



開館日 土・日・祝 10:30～17:00(16:30迄入館)
入館料 一般 200円 会員・高校生以下無料
(11月1日～9日はギャラリーの休館日と並開催)

脩は西へ



林望先生 「月」を語る

日本人は
月をどう
眺めてきたか



頃はよし 長月十三夜 月をめぐるて

リンボウ先生 大いに語る

9月10日(土)

午後3時(開場2時半)

会費2,000円 会員1,800円

古今東西 縦横無尽

興の赴くままの語りを

午後5時より観月会

茶会：月の茶席

句会：兼題「月」・「秋の七草」一人3句お持ち下さい

おもてなし：軽食・飲み物・月見だんごなど

ご堪能あれ



※講演後、サイン会を予定しています

※100席用意します 早目に事務局までお申し込み下さい

瀧月の会

平成26年3月21日 (金) 春分の日、午後2時から

ギャラリーが開館して4回目の「瀧月の会」になります。今年は月・瀧・人を愛して逝った原田脩の八回忌にあたります。

第7回常設展「エチュードからタブローへ」を開催中です。また、研修・アトリエ棟と併設の庭園が完成しましたのでご覧ください。

東京芸術大学の学生による クラシックコンサート

【ヴァイオリン演奏】

演 者： 小林 修子
曲 名： モーツァルト：ヴァイオリンソナタ K304
チャイコフスキー：感傷的なワルツ
ヴィターリ：シャコンヌ

【歌 曲】

演 者： 竹内 将人
曲 名： 日本の歌、数曲

【ピアノ】

演 者： 大橋 征人

東日本大震災こども未来基金 チャリティー オークション

収益金は全額、東日本大震災こども未来基金に寄付します。

オークション・バザーに出品ご希望の方は、希望売値価格をつけて会場へお持ち下さい。

4時30分ごろから 茶菓子

ギャラリーの日本庭園を前にしたテラス、アトリエ棟の囲炉裏を囲んで談笑して下さい。

自家焙煎のコーヒーを用意しています。

お申し込みは 電話・ファックス・メールで

【参加料】

協力会会員：1,000円

— 一般：1,200円





ランディ タカキ 彫刻展

併 設

浅岡 佳代 彫塑作品

The Way - 道

ハワイ島の風 - 自然の息吹を形に

日 時：平成25年3月23日～3月31日

午前10時30分～午後5時

- ※ 3月7日から併設のアトリエ様に滞在し、付近の木や海岸の流木などを使って制作します
- ※ 展示会終了までの期間に学生や彫刻に興味のある方との交流を計画しています

【Randy Takaki】

- ・1952年、アメリカハワイ島に生まれる 日系3世
- ・ハワイ大学美術学部卒の後に「イーストハワイカルチュラルセンター」で専属インストラクター（美術展示専門家）を務める
- ・この間、個展、美術館入賞多数
- ・現在、キラウエア火山アーティストヴィレッジ在住

<代表的な作品> Guardian：守護者

杉やライチ、コア、流木など様々な木材、時には廃材を用いて制作
道具はポケットナイフ、なた、チェーンソーなどシンプルなもの



浅岡 佳代

- ・1973年大阪に生まれる
- ・ハワイ島でランディさんと共同展を行なう
- ・コンピューターグラフィック作画、塑像作家



2014年 春



波田 若氏 作

加藤 氏
山田 氏 氏 氏







ギャラリーの仲間たち展

平成26年11月1日 午後2時 ~ 11月9日 午後2時 まで

浅田 道雄 絵画

1948年生まれ

京都府在住

胡田 智史 染色工芸

1956年生まれ

京都府在住

梶 芳正 陶



第6回 ギャラリー レクチャー

「日本の色を染める」

紅花で艶やかな赤を染め、紫根から深い紫を取り出す。
色を重ね、その微妙な変化を楽しむ。飛鳥・天平の美や
「源氏物語」の世界は、その繊細な色彩感覚と高い染織
技術を抜きにしては語れない。数々の古代植物染の復元
に取り組んできた吉岡幸雄が実作者ならではの眼と経験
をもとに日本の色と衣と染の歴史を縦横に語る。

2014年 11月24日 (月) 午後2時～

映画 「紫」 - 色に魅了された男の夢 - 14時10分～

講演 15時30分～

ワークショップ - 植物を使った染めの実演 -

受講料 2,000円

染織家
染織史家

吉岡幸雄



2015年 春

雪舟

臘月忌 記念講演会 三月二十四日は

生前、月・瀧・人を愛して逝った原田脩の
命日、臘月忌にあたります。これを記念
して雪舟研究の第一人者、島尾新氏の講演
会を開催いたします。

第七回 ギャラリー レクチャー

「雪舟の足跡―九州編」

九州・山口の雪舟庭と豊後の天開図画楼

二〇一五年 三月二十二日（日）午後二時

受講料 二千円

美術史家

学習院大学教授

島尾新

【略歴】

一九五三年 東京都に生まれる。

一九五三年 東京大学大学院修士課程修了

一九八四年 東京国立文化財研究所

二〇〇二年 多摩美術大学教授

二〇一二年 学習院大学教授

【著書】

『能阿弥から狩野派へ』

『瓢鮎図―ひょうたんなまのイコノロジー』

『雪舟の「山水長巻」―風景絵巻の中で遊ぼう』









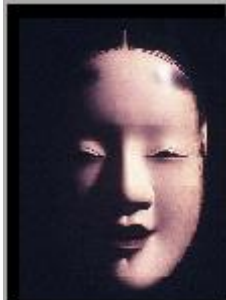




조각

청동 1인용 대접

한국현대미술관
전시실 (서울시립미술관)



開館五周年記念 能へのいざない PART II



観世流 シテ方
坂口 貴信



観世流 シテ方
坂口 信男



幸流 小鼓方
飯田 清一

平成 27 年 10 月 18 日 (日)

開場 午後 2 時、開演 2 時 30 分

入場料 前売り A 席 3000 円 B 席 2500 円 (当日券は 500 円増し)

電話またはファクスで予約してください 席に限りがありますので、お申し込みはお早めに

秋の一日、皆様を親しみやすく魅力ある能の世界へと誘います



美術館は秘密基地

画家・原田脩と仲間たち

制作・著作



福岡発地域ドキュメント 大人たちの“手作り美術館”
2015年11月20日

雪隠
梶秀正 作
白萩糖菓花路
雪隠の一輪

247-200000
一冊+紙ナガシ 梶秀正





若かりし頃



田端捜査1課長



向田邦子を語る



次席検事・牛丸豊



O型 左利き



近藤春菜じゃねえよ

「私の演劇人生」

文学座 角野卓造



『モンク』の吹替



渡る世間は鬼ばかり

2016年 2月28日 (日)
午後2時～

第9回 ギャラリー レクチャー

受講料 1,500円



熟年探偵社

ドラマ『渡る世間は鬼ばかり』でもおなじみの角野卓造さん
学習院高等科、学習院大学と学生演劇を皮切りに文学座に入所
杉村春子さんの時代から劇団員として俳優を務めてきました

竹の花入れ

金丸幹夫作

(宮崎在住)



原田脩記念

ギョリ稲童

2010年8月開館

【開館日】 土・日・祝日

【開館時間】 午前10:30 午後5:00

【入館料】 大人：200円
協力会会員・高校生以下：無料

福岡県行橋市大字稲童3202番